

令和8年度 トルコギキョウ 防除基準

J A庄内たがわ

令和8年1月6日時点の農薬登録情報を基に作成

ヨトウムシ類	アザミウマ類	ミカンキイロアザミウマ	アブラムシ類	ハモグリバエ類	オオタバコガ	コナジラミ類	J R A C	薬剤の系統 (又は成分)	薬剤名	劇物	使用基準			備考	
											希釈倍数又は使用量	水100ℓ当り薬剤量	使用回数		
	○		○				1B	有機リン	ジェイエース粒剤		1~2g/株	—	5回以内	株元散布 (9kg/10aまで)	
	○		○				4A	ネオニコチノイド	ダントツ粒剤		1~2g/株	—	4回以内		
	○	※	○				1B	有機リン	オルトラン水和剤		1,000~1,500倍	100~65ml	5回以内	※ヒラズハナアザミウマに適用	
		※					3A	ピレスロイド	アディオフロアブル		1,500倍	65ml	6回以内	※ヒラズハナアザミウマに適用	
		※				テルスターフロアブル			劇	4,000倍	25ml	3回以内	※ヒラズハナアザミウマに適用		
		※				トレボン乳剤				1,000倍	100ml	6回以内	※ハスモンヨトウに適用		
☆ 殺 虫 剤			○			○	4A	ネオニコチノイド	スタークル顆粒水溶剤		2,000~3,000倍	50~33ml	5回以内	※かん注	
			○			1,000倍			100ml						
			○			2,000倍			50ml	6回以内					
			○			1,000倍			100ml						
		○		○					ダントツ水溶剤		2,000~4,000倍	50~25ml	4回以内		
		○			○	○	5	スピノシン	ディアナSC		2,500~5,000倍	40~20ml	2回以内	コナジラミ類は2,500倍 薬害注意	
		○			○		6	マクロライド	アフーム乳剤		1,000倍	100ml	5回以内		
		○				2,000倍				50ml					
				○			9B		ピリフルキナゾン	コルト顆粒水和剤		4,000倍	25ml	4回以内	
				○		ピメトロジン			チェス顆粒水和剤		5,000倍	20ml	4回以内		
	○					21A 39	METI・ピラゾールカルボキサミド	ハチハチフロアブル	劇	1,000倍	100ml	4回以内			
	※				○	28	ジアミド	フェニックス顆粒水和剤		2,000倍	50ml	4回以内	※ハスモンヨトウに適用有		
	※				○	UN	ピリダリル	プレオフロアブル		1,000倍	100ml	4回以内	※ハスモンヨトウに適用有		

立枯病 (フザリウム)	立枯病 (リソクトニア)	立枯病	灰カビ病	斑点病	菌核病	うどんこ病	J R A C	薬剤の系統 (又は成分)	薬剤名	劇物	使用基準			備考
											希釈倍数又は使用量	水100ℓ当り薬剤量	使用回数	
○							8B	クロルピクリン	クロピクフロー	劇	30ℓ/10a	—	1回	※ネコブセンチュウにも適用有
○						クローピクリン			劇	2~3ml/1穴	—	1回		
○						クローピクリン錠剤			劇	10錠/1㎡	—	1回		
				○	○	1	チオファネートメチル	トップジンM水和剤		1,500倍	65ml	5回以内		
		○				M04	フタルイミド	オーソサイド水和剤80		600倍	166ml	8回以内	他品目で炭疽病にも適用あり	
				○	○	M05	クロロニトリル	ダコニール1000		1,000倍	100ml	6回以内		
				○	○	7	ピラジカルボキサミド	パレード20フロアブル		4,000倍	50~25ml	3回以内	斑点病は2,000~4,000倍	
			○			9	アニリノピリミジン	フルピカフロアブル		2,000倍	50ml	5回以内		
			○	○		11	ベンジルカーバメート	ファンタジスタ顆粒水和剤		3,000倍	33ml	5回以内		
	○					14	芳香族炭化水素	リゾレックス粉剤		土壌混和 (50kg/10a)	—	1回 (※)	※粉剤・水和剤合わせて5回以内	
	○				リゾレックス水和剤				500~1,000倍	200~100ml	5回 (※)	※粉剤・水和剤合わせて5回以内		
			○	○	○	19	ヘフチシルピリミジンヌクレオチド	ポリオキシシンAL水溶剤		2,500倍	40ml	8回以内		
			○			BM2	パチルス・スブチリス	ボトキラー水和剤		ダクト内投入 【15kg/10a/日】	—	—		

※農薬を混用する際の順番は、『展着剤 → 乳剤 → フロアブル → 水和剤』です。展着剤は必ず最初に添加して下さい。

※農薬防除だけでなく、防虫ネットの設置等、耕種的防除も取り入れましょう。

※農薬は、乾かないと効果を発揮しません！乾くような時間・環境での散布又は乾きやすくなる機能性展着剤の使用をお願いします。